

2022年1月24日

教養学部・総合文化研究科・数理科学研究科
学生ならびに教職員のみなさま

総合文化研究科長・教養学部長
森 山 工
数理科学研究科長
時 弘 哲 治

駒場 I キャンパスにおけるステージの改定について

新型コロナウイルス感染対策についてはご協力をいただき、ありがとうございます。

みなさんご存じのとおり、新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株への置き換えによるとみられる流行が全国的に急速に拡大しています。これにともない、まん延防止等重点措置が、1月9日から3県に、1月21日から13都県に適用されることになりました。また、このような急速な感染拡大は、本学の学内においても見られます。

これにより、本学では本日をもって、全学の活動制限レベルをレベル A からレベル B に強化することになりました。これを踏まえ、また、駒場 I キャンパスにおける感染拡大状況にも鑑みて、駒場 I キャンパスでも本日をもって、警戒ステージをステージ・イエローからステージ・オレンジ I に改定することといたします。

その一方で、本学も、また本研究科・本学部も、これまでの2年近くにおよぶ新型コロナウイルス感染症への対応の経験から多くを学んできました。このため、駒場 I キャンパス（建物外）への入構制限緩和については、臨時的な措置として各門の開放を引き続き実施します。また、学生のみなさんの課外活動についても、感染対策を最大限に講じ、施設の人数制限等を実施しつつ、活動自体は継続しておこなっていただきます。学外者の課外活動への参加も従来どおりの扱いです。

教職員のみなさんにおかれましては、従来どおり感染防止対策を徹底したうえで、研究・教育・執務をおこなってください。

今回のステージ改定は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に対してみなさんの注意を喚起し、これまでおこなってきた感染防止対策をいっそう徹底して励行していただくためのものです。マスクの着用、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保、集団的な飲食の回避について、いっそうの徹底をお願いいたします。

学生のみなさんの意見にもとづき、駒場 I キャンパスでは安全で安心できる「居場所」づくりの取り組みが実を結んでいます。キャンパス外よりもキャンパス内に「居場所」を求めつつ、今回のステージ改定には冷静に臨んでいただきますとともに、引き続き慎重な行動をおとりくださいますよう、改めてお願いいたします。